

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：青少年対策費

事業名 青少年育成支援協議会運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部子ども・女性政策課

電話番号：058-272-1111(内3520)

E-mail：C11239@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 505 千円 (前年度予算額： 920 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	920	0	0	0	0	0	0	0	920
要求額	505	0	0	0	0	0	0	0	505
決定額	505	0	0	0	0	0	0	0	505

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・青少年の育成・支援全般に関する課題の把握と効果的な対応を検討するとともに、青少年育成・支援に取り組む関係機関や団体相互の情報共有や連携を促進し、青少年施策全般を推進するための協議会を設置する。

(2) 事業内容

- ・岐阜県青少年育成支援協議会において、青少年の育成・支援全般に関する現状・課題や、課題への対応について意見交換。
- ・視察交流会を開催し、育成・支援団体の連携を促進するため、互いの活動現場を視察し、事業の実施手法や課題解決のヒント等を学びあう。
- ・同じ圏域で課題の解決に向けて活動する団体が、テーマに沿って意見交流を行うことで、実際に課題解決に向けて取り組む時に連携することができる関係性を醸成する。

（３）県負担・補助率の考え方

- ・岐阜県青少年健全育成施策全般を、青少年育成に取り組む関係機関や団体と連携して推進していくため、県負担は妥当。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	194	委員報償費、講師報償費
旅費	242	委員費用弁償
消耗品費	15	消耗品費
賃借料	27	会場使用料
役務費	27	郵送代、電話代等
合計	505	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

第５次岐阜県青少年健全育成計画

（２）後年度の財政負担

今後も様々な青少年健全育成に関する取組を実施していく必要があるため、継続して事業を行っていく必要がある。

（３）事業主体及びその妥当性

青少年の育成・支援全般に関する課題の把握と効果的な対応を検討するとともに、青少年育成・支援に取り組む関係機関や団体相互の情報共有や連携を促進し、青少年施策全般を推進する必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

青少年の社会性、豊かな人間性、たくましさ等を育てるため、様々な体験活動や異世代間・地域間交流等の多様な活動を全県的に推進していく。また、青少年を地域全体で見守り、早期に支援機関に繋いでいく体制を構築する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

青少年育成支援全般に関する課題の把握と効果的な対応を検討するとともに、青少年育成支援に取り組む関係機関や団体相互の情報共有や連携を促進することが目的のため、目標を数値化することになじまないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	○取組内容 ・協議会の開催 1回 ・圏域交流会の開催 東濃圏域交流会 1回 ・視察交流会の開催 1回 ※圏域交流会および視察交流会は同日開催 ○成果 ・青少年の実態や育成支援活動の課題等について講話や研修をもとに意見交換を行い、各団体の活動に活かしていただくようにした。
令和5年度	○取組内容 ・協議会の開催 1回 ・圏域交流会の開催 各圏域 1回ずつ合計 5回 ・青少年育成団体向け研修会 1回 ・視察交流会の開催 1回 ○成果 ・青少年の実態や育成支援活動の課題等について講話や研修をもとに意見交換を行い、各団体の活動に活かしていただくようにした。
令和6年度	○取組内容 ・協議会の開催 1回 ・圏域交流会の開催 各圏域 1回ずつ合計 5回 ・青少年育成団体向け研修 3回 ・視察交流会の開催 1回 ○成果 ・青少年の実態や育成支援活動の課題等について意見交換を行い、各団体の活動に活かしていただくようにした。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	青少年育成に携わる様々な組織の意見を交換できる場として機能させ、青少年健全育成に関する取組を推進していく必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	協議会や視察交流会を通して情報交流や意見交換を行い、そこで得た情報を基に各団体の活動に活かしたり、事業実施のヒントを学ぶことができてい る。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	青少年に関する様々な問題に対応していくために、青少年健全育成に関わ る各団体の委員の方に意見をいただくことで、施策の方針決定に繋がってい る。

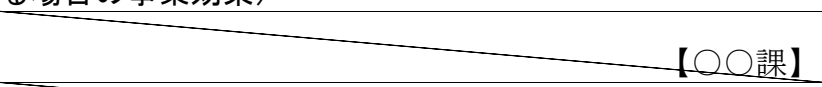
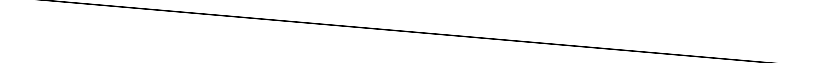
(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 青少年育成支援に取り組む関係機関・団体へ相互の情報共有や連携を促進するとともに、青少年育成に関する課題の把握や効果的な対応への意見等を把握し、施策に反映していく。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、全体の協議会とともに、各圏域で交流会を開催する。また、青少年育成支援に携わるうえで必要な知識・ノウハウの習得に向け、視察交流会や研修会を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

【〇〇課】